きょうの紙面

〈昭和38年3月25日 第三種郵便物認可

民間 名鉄都市開発ら 熱田区桜田町に分譲 金山町にオフィスビル

尾張 半田市病児保育施設を解体へ 岐阜 国土強靱化地域計画アクションプランを改定

三重 津駅周辺再整備で連携促す

診断した浅野交差点

2025年(令和7年) 10月8日水曜日

発行所:建通新聞社 中部支社

〒451-0061 名古屋市西区浄心 1-8-17

新聞定価 6ヵ月 52,800 円(税込)

©建通新聞社 2025

建通新聞

-の学識経験者、

国、愛知県

すいことによる追突事故 停止判断に迷いが生じや

にまで延伸することで、現在の約15以から約6以

進入する右折レーンを、 街道線を左折して国道に

一環として、

の停止線と停止線の距離 コンパクト化では、

することで、 車道の進行方向側に移設

愛知県議会 -般質問

民 0 年度試行する」と、新たな 持管理」などについての質 施策を試行する考えを示し めて発注する取り組みを今 「点検と簡易な修繕をまと の 愛知県議会9月定例議会 神戸健太郎議員 (9月30日)

「道路の効率的な維 自 メント インフラ群再生戦略マネジ る国の施策として、 た。その上で、それに対す ―といった課題を取り上げ

設の老朽化と技術者不足 自治体が代行できるよう 路の点検や修繕等を他の に改正された道路法で道 の管理の適正化や、 になったことを挙げ、 による地域全体で 朋 取り組んでいることを説

象に、今年度から点検の記 効率化に向けた検討委員会 者等による橋梁定期点検の での意見を踏まえ、 前年度に設置した有識 めた『地域

町村への支援としては、 村の点検・診断業務をまと 2015年度から愛知県 一括発注』 を実

を決めていく見込みだ。 ルランチ) 動向などを踏まえて20 本年度行っており、 を検討するための調査を 中学校給食(スクー 事業の在り方 国の 中を除く)は、 ンチ(鳴海中となごやか

一事業者の参入可能性調査 半数 (49・3%) の生徒のうち、 している (2024年

の全員制給食 備費を調査する。 新が必要な場合の概算整 年数・使用年数、 を実施する場 小学校と同様 、設備更

NAGO OM 土木建設業向け ご推奨システム (Ⅰ)簡易原価・支払管理システム (Ⅱ)建設経理・原価管理システム

> www. nagocom. co. jp ㈱ナゴコン

修点 検 繕

効率的な維持管理

梁や地下横断歩道や道路照 設のうち、施設数の多い橋 取り組みを、今年度、

の建設事務所において試行 点検と簡易な修繕を個別に の業務にまとめて発注する 発注していた手法を「一つ Toらに、 自主点検施設の と新たな試行を始める 導入効果を検証してい

考えを説明した。

技術者不足、財政的な制約

地域

そのうち、

橋梁につい

土木技術者が不足する市

市の中学校スクー

には、

既存設備の提供上

限食数や既存設備の耐用

明などの自主点検施設につ

、維持管理の効率化に

名古屋市 スクールランチ事業

26年度にも方針

事業者が設備を更新する 和食を実施する場合の概 "合の概算整備費や、 :小学校と同様の全員制 るなどの課題がある。

握して来年度の検討に備 昇費用などを本年度は把 検討する。 ていくための契約手法も

概算事業費、事業スケジ 契約手法を検討、 設といった手法も含めて の提供実績がある事業者 ュールを把握する。 また、スクールランチ 、課題や

間活力導入による工場建 | 方式の4方式で考える。 ランチの特徴でもある選 を行う。また、スクール |活用方式、給食センター |校に配送)、 |子調理方式(近隣学校の|式は、自校調理方式、親 給食調理場で調理して各 民間調理場

検討では、

えて、 |無償化されると、市の給 |ランチ事業の方向性を 成果と国の動向を踏ま 決めていく考えのよう 食提供食数も変わる可能 性もあり、 している。中学校給食が していく方向性を打ち出 今後のスクール 本年度調査の

完全週休2日で工事発注

ため、補正係数などを改 定した。国土交通省が直 が10月1日付で改定した 県建設局および都市・交 おり、これに合わせて、 通局(以下、建設局等)

ることなどが考えられて

主な対策としては、交

が発注する工事につい

10月1日単価適用工

轄土木工事における積算

「完全週休2

愛知県企業庁は、同庁

愛知県企業庁

一日工事」として発注する 事から原則

「通期の週休2日」

旦

同一としていた従来の補 |正係数を廃止するととも|費用に計上する。受注者|するとした。 「完全週休2日工事(土 | て「月単位」または 「完全」を指定し、 (以下、月単位)と 「月単位の週休2|側が達成できない場合 (以下、完全)を|単位の週休2日未満 一同庁が が26年4月1日以降廃止

|補正係数に変更する。 は、現場閉所状況に応じ 評価していたが、契約日 工事成績評定の評価で

|の |この扱いも検討し、 | |月 |全] で評価している 全」で評価しているが、
来、「月単位」と「宮 総合評価の加点は従 26



(2021年度) と交

一日に5万3715

26年度にも い違いの幅をどの程度設けることが適切ついて、食い違い形状にするべきか、食者が現地を点検。横断歩道の改良方法に 集まった意見・アドバイ 安全診断を実施した。愛知県道路交通環一宮市内の国道22号浅野交差点で、道路 始する可能性がある。 同年度中に詳細設計を開 開催。早ければ26年度の 2月に最終的な報告会を 案をまとめ、2026年 りまとめる。12月の会議 人などを基に対策案を取 言、愛知県、道路利用者関連団体の担当 対策方針について中間 | 故危険箇所(計画期間 今後は、

21年度から25年度) では

同交差点は、

、第5次事

定基準のひとつである 傷事故率が280・5件 ないが、20~23年度の死

「死傷事故率が100件

/億台古と、第5次の選

今回の診断でしな、

周辺の小中学生の通

で、横断者の視認性を向い違い形状にすること

だ。 だ。 だ後、工事を28~29年

備局は、

・建設会社におけ

申請の受け付け

| グ技術について、実用段 降雪時などの視界不良時

実用化に向けた課題に 車両ヘッドライトに

における遠隔モニタリン

一できるのを確認したとい

より早い段階で検知

階に移行することを決め

|よるハレーションが大き

い映像などで効果が逆転

アムズが保有する技術。

た課

像を鮮明化する過程で する場合があった他、 国土交通省中部地方整

020年度に創設され 応力を強化するため、

2

は

る災害時の事業継続力認

送の場合、

学路として使用されてい

号名岐バイパスと市道0 5カ年度。30年度までに計画期間は26年度からの 決定されている。当該箇 を挟んだ市道西側は、 所の国道は片側3車線 元了を目指すことにな 6次事故危険箇所に選定 - 5号線が交差。 箇所のうち、改築を伴う 選定される可能性が高い 務所管内の中で第6次に 達している。また、 /億台

・以上」

の指標に 種事業での対応が必要

が横断歩道上で巻き込ま は、岩倉街道線からの方 折時に、自転車・歩行者 数が22件と最多だった。 な箇所の中で過去4年間 (20~23年度) の事故件 発生事故の特徴として

多い。要因としては、交 阜)方面での追突事故がれる事故や、下り(岐 差点の規模が大きく、

歩道が斜めに設置してい

中津川市坂本小 ため池現場を見学

ベントナイト実験に興味津々一。岐阜県中津川市は、改修工事中のため池で坂本小学校4年生105人を対象に見学会を行った。児童らは、水を抜いた今しか見られないため池を観察した。当日は、発注者の岐阜県恵那農林事務所、施工者の吉川工務店(中津川市)、ICT建機を提供するコマツカスタマーサポート東濃支店(同市)、ベントナイト(堤体に敷く特殊粘土)を扱うボルクレイ・ジャパン(東京都港区)が協力。児童らはため池の役割や施工方法の影印を受け、地域の安全を守る建即等の大切さを学 福は、からり、北里りはためにからいまで配すればり 説明を受け、地域の安全を守る建設業の大切さを学 んだ。また、ベントナイトを使った遮水実験=写真 =では、「授業で習ったベントナイトは本当に水が 説明で」 んだ。また、 =では、「授う ついにくいこ 通りにくいことが分かり、面白かった」と笑顔で話 す児童の姿も見られた。

る。実証では、リアルタ

|通じて、業務への導入効||加)を設置。技術実証を

139企業・団体が参 ベーション交流会(現在 ーションを推進するイ

果が得られると判断した

イムでカメラ映像を鮮明 が困難になる課題があ

や降雪といった視認性が 実証を通じ、

な事業把握が可能となる 化する技術により、円滑

一場合に実用段階に移行し は同交流会のWEBサイ 上(https://innovative-ている。交流会への応募

ふしぎな粘土

トを体験

を一部垂直方向にする食 度に不動産鑑定、物件を一部垂直方向にする食 度に不動産鑑定、物件車点の進行方向側に移設 離させることを計画。同車道の進行方向側に移設 離させることで、呼上線間距 市のスケジュールでは、対象の機断歩道を 直進車線と左折車線を分を防ぐため、機断歩道を 直進車線と左折車線を分 中部地整

後期受付を開始

をつくる制度。管内の対 事業継続力を高める体制 まで受け付ける。 興に不可欠な建設会社の (規模災害の発生を想定 建設会社の復旧・復

中日本高速道路会社 | た軽度な視界不良時で

請、継続申請ともに31日

けを開始した。新規申「いる。後期分の認定開始」定している。20215年度後期受け付「午後4時まで有効として「社」制度の連用開始も予定制度(建設BCP)の「効。持参・メールは同日「20年度から「慢良認定会

視界不良時」遠隔モニタリング技術 実用段階に移行

建題新聞圖品版 ラ危機 進む老朽化、足りない...

欲しい情報は この手の中にある

映像の視認性が大きく低どの気象条件によっては が、夜間や霧、降雪時な常時監視を行っている

速やかな事象把握

設置したカメラで全線の

高速道路では、

あったとし、パラメータ

が必要だとしている。 ー調整や運用方法の検討 除去されてしまう場合が 降雪そのものが映像から

同社は、コンソーシア

対策における現場監視で 題を解決した上で、雪氷

建通新聞 蟠

スマホでアクセス digital.kentsu.co.jp お問い合わせはこちら TEL_03-5425-2070